

能登半島地震 医療支援 緊急報告

保健医療学部 救急医療学科長 教授 小川 理郎

1月6日(土)～10日(水)まで、能登町立小木中学校の避難者250人に医療活動を実施。

元日の大地震発生直後に、能登半島に医療支援が必要と判断し、直ちに私が統括し救急医療学科の医療支援チーム(EDMS; Emergency Disaster Medical Service)として横田裕行大学院研究科長をリーダーに、鈴木健介准教授、三橋正典救急指導教員、小倉勝弘救急指導教員で出発しました。

七尾市から道路はひび割れ、崖崩れで寸断されて何度も迂回しながら現着しました。避難所では、電気は使えたものの、雪が降り、石油不足で気温は5℃。断水で水が使えず、トイレも流せず、通信はソフトバンクの回線だけが使用可能で、自衛隊からの救援はなく、当初避難者は1日2ℓの水だけの配給で過酷な状況でした。

「ここは皆さんの第2の家です。みんな家族ですよ。」と呼びかけて、避難所の環境改善と感染予防に努め、災害関連死などの予防に繋がり、避難者の方々から大変感謝されました。



▲写真左より、鈴木救命士、横田医師、稲毛薬剤師(日本医大)、三橋救命士、小川医師、小倉救命士



▲倒壊建物の状況



▲緊急走行可能かつ電動ストレッチャーを搭載した日体大オリジナルの救急車



▲道路の亀裂や横転車両、障害物等により、何度も迂回して現地に向かった

令和6年能登半島地震に係る支援金について

令和6年能登半島地震に係る支援について、日本体育大学では2月に復興支援プロジェクトを立ち上げました。ボランティア活動は、2月19日(月)より3回に分け、行って参ります。その活動支援として、同窓会より200万円を寄付いたしました。被災された方々はもちろんのこと、関係の皆様には心よりお見舞いを申し上げ、一日も早い復興を願っております。



日體人

にったいじん

【題字】学校法人日本体育大学
理事長 松浪健四郎

「日體人」を揮毫させていただく光栄にあずかった。日体大は、体育・スポーツの指導者、研究者を育成する日本を代表する単科大学として歴史を積み重ねてきた。そのキャンパスで学んだ同窓は、エッサツサ、荏原体育を無心で演じてきた同志である。理不尽さに耐えつつ、常に夢を描き、犠牲的精神を発揮する習性を身につけた異色な人類。それが「日體人」だと私は実感している。この人類は、同窓の絆を財産以上に大切にしている習性をも身にまとう。われらの誇りである。日体大は小さいかもしれぬが、その存在感は計れぬほど大きい。
(2012年11月創刊号より抜粋)

日體人

NITTAI-JIN
2023

Vol. 12

日本体育大学同窓会誌 日體人VOL.12 2024年3月15日発行 発行・編集/日本体育大学同窓会
TEL: 03-3704-0266 FAX: 03-3704-1817 URL: <https://www.nittai-club.com/> 制作協力/株式会社グイアックス

日本体育大学同窓会誌

日體人

NITTAI-JIN
2023

vol.
12



| | | | |
|----------------------------|----|---|----|
| 高田 佳朗 「身近な同窓会」をめざして | 2 | メタバース就活フェス/ 第2回 新春名刺交換会 | 12 |
| 松浪 健四郎 雄飛する日体大へ | 4 | 『日体大卒業生健康寿命延伸プロジェクト』 2023年度アンケート調査のご報告 | 13 |
| 今村 裕 日体大グループの近況と未来に向けて | 6 | アスレティックデパートメントについて | 14 |
| 石井 隆憲 大学の現状2023-24 | 7 | 第60回 体育研究発表実演会 | 16 |
| 神藤 昭嘉 × 高田 佳朗 陸桜会の、今と未来 | 8 | 同窓会誌発行協力金について | 18 |
| 令和5年度 事業報告 | 10 | 小川 理郎 能登半島地震 医療支援 緊急報告 | 24 |

「身近な同窓会」をめざして

日本体育大学同窓会
会長 高田 佳朗



この度の能登半島を震源とする大規模地震により犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の皆さまの安全確保、そして一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

はじめに

会員の皆様には、平素より本会の活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。また、法人、母校、そして、保護者会の皆様方には、日ごろ同窓会の活動を温かく見守っていただき、心より感謝致しております。また、本誌発刊にあたり、法人より松浪健四郎理事長、今村裕常務理事、大学より石井隆憲学長にご寄稿を賜り、厚く御礼申し上げます。

私儀、前任の塩谷和雄氏より会長職を継承し、はや年度末を迎えようとしております。今年度になり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、長らく停滞していた社会生活や様々な活動が、ようやく動き始めることができました。その間、知恵を出し合い工夫しながら同窓会の活動を支えていただいた皆様に心から敬意を表しますとともに厚く御礼申し上げます。

本会は「親睦」「研鑽」「母校発展への寄与」を目的として

設立され、法人・大学、保護者をはじめ関係の皆様のご理解・ご協力の下で、その足跡を刻んでまいりました。

わが母校日本体育大学は、「身体にまつわる文化と科学の総合大学」として5学部体制へと発展を遂げ、今なお進化し続けています。一方、体育学部の卒業生を軸に組織化されてきた本会は、会員の高齢化、総会等参加者の固定化、新入会員の減少、職業の多様化など多くの課題に直面しています。

そうした大学生や卒業生を取り巻く環境変化が加速する中で、瀧澤康二元会長、塩谷和雄前会長のリーダーシップのもと、多様性を受け入れ、柔軟に対応して行くための方策を探り出し、さらなる活性化へ発展させていくために「黎明」と銘打って、3期9年間にわたり新時代への課題の解決や本会の活性化策が講じられてきました。

今年度は、「黎明」の精神を継承するとともに、再始動(restart)の年としてこれまでの取り組み成果を検証し、有効な活性化策を継続するとともに、地区協議会や都道府県支部活動の充実に力を入れてまいります。とりわけ、母校の著しい進化に伴う我が同窓会の課題について、一つずつその解決に向けた取り組みを迅速かつ丁寧に進めてまいります。

再始動(restart)にあたって

再始動(restart)にあたって課題解決策として次の取り組みを始めました。

1 学生支援の充実にに向けた取組

本会の収入のほとんどが、準会員である学生からの準会員費であることから、現役学生への支援の充実にについては、同窓会として重要な課題であります。そこで、昨年度から参加している大学主催の就活応援イベントにおける参加形態や内容の充実、さらに「いつでもなんでも気軽に相談できるサポートデスク」としての「身近な同窓会」をコンセプトとした新たな体制の構築。

2 支部活動活性化に向けた取組

新型コロナウイルス感染症の影響により活動が停止または停滞してしまったことにより新たな会員が入会しない状況を少しでも改善するために、以前各都道府県支部とのパイプとなっていた「都道府県人会」の再構築をめざし、大学の協力のもとモデル地区をつくり県人会の機能を整理し地元とのつながりをより強固にしようと考えております。また、この取り組みを行うことにより、各支部が1で紹介した「いつでもなんでも気軽に相談できるサポートデスク」になると考えられます。

3 民間・企業人の参加促進に向けた取組

昨年度企業人として活躍する同窓生にお声かけをして「日體未来応援団 新春名刺交換会」を初めて開催させていただきました。令和元年11月には、「民間・企業人全国大

会」を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響によってその後の継続ができておりませんでしたので、こうした民間・企業人を対象とした新たな取り組みが重要であると考えております。

母校日体大は、5学部9学科の総合大学となり、卒業生の多くが民間企業に就職している今日、多くの教員以外の方々に参加していただくことが急がれています。このことは、1の学生支援にも大きく影響するものです。積極的に進めたいと考えております。

4 同窓会グッズと広報活動の充実に目指した取組

かつて同窓会の新たなロゴやグッズ製作と販売を実施したことがありましたが、昨今の事情によりその活動が停止しています。各支部の新会員の勧誘にもこうしたグッズが効果的であると思います。また、同窓会ならではのグッズを手にする事で、より一層母校愛が高まり同窓会活動がより活性化することが期待できます。

広報活動においても、これまでのホームページをより見ていただけるような工夫をするとともに、様々な情報発信が必要であると考えております。

こうした取り組みを通して同窓会の活性化を図ってまいります。会員の皆様にも積極的にかわりを持っていただき、「身近でなんでも相談できる先輩」としてご協力いただきたいと思っております。

今後とも、本同窓会及び母校日本体育大学の発展に誠心誠意努めてまいりますので、何卒よろしく願いいたします。

令和5・6・7年度 本部役員名簿

| 役職 | 氏名 | 卒業年 | |
|-----|--------|-------|------|
| 会長 | 高田 佳朗 | 1982 | |
| 副会長 | 吉田 和希 | 1980 | |
| | 八木沢 誠 | 1984 | |
| | 中村 欽哉 | 1987 | |
| | 米山 英津子 | 1980 | |
| | 田中 俊一郎 | 1980 | |
| | 遠藤 健三 | 1972 | |
| | 岡崎 宏一 | 1984 | |
| | 町田 暁世 | 1973 | |
| | 橋爪 建治 | 1979 | |
| | 光橋 扶 | 1967 | |
| | 長友 寧雄 | 1974 | |
| | 監事 | 山田 五郎 | 1982 |
| | | 瀧口 和伸 | 1990 |

| 役職 | 氏名 | 卒業年 |
|------|--------|---------|
| 幹事長 | 巴 伸一 | 1979 |
| 幹事 | 佐野 昌行 | 2005(院) |
| | 福井 元 | 1999 |
| | 堀井 誠二 | 1987 |
| | 田口 久美子 | 1987 |
| | 亀山 有希 | 1995 |
| | 波多腰 克晃 | 2003 |
| | 佐野 朗子 | 1982 |
| | 岩切 大作 | 1996 |
| 事務局長 | 大海 二郎 | 1992 |

同窓会本部 執行体制図



会誌のデジタル化について

現代では、ネット環境が広がり多くの方がスマホを活用しコミュニケーションをとる時代となりました。デジタル化が進みいつでもどこでも様々な情報が入手できます。こうした状況に鑑み、本誌もデジタル化を考えております。次年度以降、本誌発行協力金にご協力いただいた方及び準会員の皆様には、本誌をお送りいたしますが、それ以外の方々にはホームページ上で「日體人」をご覧いただくことといたします。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

雄飛する日体大へ

— 単科から多様性の大学へ —

学校法人日本体育大学
理事長 松浪 健四郎



はじめに

正月早々、能登半島が地震に見舞われました。心よりお見舞い申し上げます。

同窓の皆様におかれましては、ご家族お揃いで美しい春をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。日本体育大学は、創立133周年の幕を開けることとなります。この輝かしい歴史を織っていただいた卒業生の皆様に心から感謝をさせていただきます。

戦前、日本体育会体育専門学校は、私立でありながら「富国強兵」策の最前線に立つ学校でありました。戦争に協力した学校であったのは、当時の国家からすれば当然であったかもしれません。しかし、戦後は一転「スポーツを基軸に国際平和に貢献する」ビジョンを旗印に、五輪運動の普及と振興に大きく寄与する大学となりました。

平和運動である「五輪」の舞台上、今年のパリでも学生・卒業生に“日体魂”を見せていただきたいと存じます。同窓の皆様の力強い応援の程をお願い申し上げます。そして、能登の皆さんにも元気を届けたいものです。

大学の現状

学生数7,500名、大学院生220名の「身体にまつわる文化と科学の総合大学」として、アジア最古、世界最大の体育大学として君臨できますことを嬉しく存じます。国内の約600私立大の中であって、日体大は経常経費補助金は109位（令和5年度）でありました。また、科学研究費（科研費）の獲得は108位でしたが、政府の委託研究費を入れますと80位くらいにランクさ

れます。学問の府として存在感を示すことができるほど、優秀な研究者（教員）を持つことは大きな誇りです。

イスラエルとパレスチナのハマスの戦争は激化の一途、早く平和になって欲しいと願うばかりです。昨年末、カタール国の首長（国王）であるタミーム殿下が、仲裁に入られ人質交換と停戦が実現いたしました。このタミーム殿下には、昨年7月に石井隆憲学長が岸田文雄総理大臣と共に首都ドーハを訪問され、日体大の名誉博士号を授与されたばかりでした。本学第17号の名誉博士であられます。また第15号の名誉博士であられる川淵三郎氏が、今年の文化勲章を受章されました。国内外のスポーツ功労者・教育者を名誉博士号をもって顕彰できる大学であることを誇りに思います。順調な発展を遂げているからこそ、IOC会長や一国の国王が受け入れてくれたものと理解します。その様態が現在の日体大を物語っていると存じます。

大学の新ビジョン

卒業生の就職戦線は堅調であります。保健体育教員の中高への就職は、他大学を大きくリードしてトップであります。特筆すべきは、共生社会のための支援学校教員の合格者数増加傾向にある点です。北海道の網走市にある日体大高等支援学校が、実習校として機能していることが大きな特徴であります。私立大で唯一、日体大だけが附属支援学校を運営していますが、昨年より文科省も応援してくれるように変化してきました。日体大はこのジャンルのトップランナーであります。ぜひ、同窓の皆様の網走市への見学をお願いします。

スポーツ国際学科の卒業生たちの就職先も変化して参りました。日本赤十字社に入社する学生が多く出現し、国際的に活躍しようとする人材も増えているのです。将来は国連職員やJICA職員のように諸外国のために働く有為な人材を育成すべきだと考えます。

地方公務員の合格者は、全国の県や自治体に多くいます。今やどの自治体にも、また教育委員会等にも卒業生が活躍してくれています。しかし、国家公務員の総合職（昔の上級国家公務員）に合格者を出すに至っておりません。法律を作る側に回る公務員を、伝統校の日体大も産む必要があります。大学院の充実で研究者や大学教員の輩出を増加させると共に、国家公務員の総合職を目指す人材育成こそ焦眉の課題だと認識しています。昔ながらの日体大でいいはずはありません。

そのためには、3研究科もつ大学院を拡充させる工夫が求められます。リカレント入学を含め、日体大大学院は3研究科ともに博士課程を設置しているだけに宣伝が必要です。

勝ち残る戦略

昨年度は、私立大320校が定員を割りました。入学定員1,500名以下の大学ばかりでありました。定員1,500名以上の大学は全国で83大学、日体大は1,870名であります。都会にある大きな大学が定員を確保していますが、日体大の改革も遅きに失したとは言え、超少子化の前に終了し、「身体にまつわる文化と科学の総合大学」として認知されています。

日体大には、まだまだ改革の余地はありますが、この超少子化の波の渦中であって慎重でなければならぬと認識しております。教授会と法人が共に研究し、勝ち残る戦略の工夫を重ねたいと考えます。とりあえず、法人下にある日体大荏原、日体大柏、日体大桜華、浜松日体の各高校からの優先入学制度、全国の各高校の指定校制度の充実、一芸をもった特異な生徒の推薦入学等、あらゆる方面から人材を求める入試制度の時代を迎えています。今年、NHKにアナウンサーとして採用された学生は、日体大の特徴を生かしたといえます。入学後の教育こそが、学生の運命を変えると同時に大学が勝ち残る方策であります。いかに魅力ある大学にするか、そのテーマを全教職員で考えて参ります。

伝統に胡座（あぐら）をかくのではなく、AIの活用

を含めた新時代に対応して行かねばなりません。授業の形態も昔とは異なります。バレーボールのオリンピックである体育学科4年の高橋藍選手は、イタリアの強豪チームで修行しつつ単位をパソコンによって受講して取得しています。留学する在學生も毎年増加傾向にあり、国際化も進んでいます。キャンパスだけが変わったのではなく、大学自体が変化しているのです。

日体大の未来像

全国7ブロックの同窓会が、久しく昨年行われました。1月には名刺交換会の未来応援団という企業関係のOB会が帝国ホテルで開催され100名の参加がありました。教員主体の同窓会から、すべての卒業生を主体とする同窓会に脱皮されますことを強く望みます。全国の地方自治体の議員や町長、市長も増えて参りました。すべての同窓が、日体大の応援団になっていただきたいと要望します。

大学は体育大といえども、あらゆるジャンルを包括しているだけに、多方面にわたって人材を輩出する総合大へと転じねばなりません。スポーツマネジメント学部は、体育学部の次に大きな学部ですが、多様性に富むおもしろい学生たちが入学してくれています。教員一辺倒の就職ではなく、あらゆる職種を視野に入れる学生が増加傾向にあるのと、その指導陣の駒が揃っていてもいます。総合大学化したことによって、日体大の未来像も広がりつつあるのです。

まとめ

文科省は、8,000人以上の大学を「大規模大学」としています。日体大は、あと一歩でその仲間入りが可能です。どんな少子化時代であれ、わが母校日体大は永遠の名門でなければなりません。法人と教授会は運命共同体であり、あらゆる協力と相互理解を深めねばなりません。団結です。皆様のご指導とご協力をお願いします。

正月に能登地震があり、多くの犠牲者を出しました。謹んで追悼の誠を捧げたいと存じます。一日も早く復興されますよう祈念します。本学は1月6日より支援隊を派遣し協力させていただいております。日体大はできることから誠実に行って参ります。

日体大グループの 近況と未来に向けて

学校法人日本体育大学
常務理事 今村 裕



同窓会の皆様、日頃より温かいご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

1月1日に発生しました石川県能登半島地震により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のため尽力されている方々に深く敬意を表します。本学では1月6日保健医療学部救急医療学科教員（医師・救急救命士）5名が公益社団法人日本病院協会 AMAT の日本医科大学・日本体育大学合同チームとして本学救急車で被災地支援に向かいました。依然として予断を許さない状況が続いておりますが、被災地域の皆様の安全確保と被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することを衷心よりお祈り申し上げます。

私立大学は今、経営環境が厳しく、社会情勢が変わる昨今、様々な課題への対応が求められております。少子化や地方格差などの従前からの問題に対する方策のみならず、未来に向けた大学運営や教育内容を再考していく状況にあります。

そんな中、ここ数年、学校法人日本体育大学が取り組んできたプロジェクトをご報告させていただきます。

先ず一つ目は、北海道網走市に大学法人としては日本で初めて知的障がいのある男子生徒を対象として設立した高等支援学校は、今年5回目の卒業生を輩出することになり生徒募集が厳しい中、経営の継続に努力しているところです。

二つ目は、学校経営の中核として、若手含め幹部候補の人材確保が必須な状況下、昨年6月に全国紙新聞一面記事中広告で『設置高等学校校長・幹部候補募集』の募集広告を出させていただきました。結果、非常に効果的な広告となり実際に有能な人材の採用に繋げることが出来ました。

三つ目は、本学はここ5年から6年間で4学部増設し、且つ収容定員を640名増員いたしました。直近では来年度、スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科において入学定員を100名増員し、設置高

校4校の生徒募集戦略と合わせ法人全体の学生募集に繋げる対策を講じました。少子化の中、本大学の規模で設置高校が4校あるところが強味となっております。

四つ目は、平成26年6月に法人賛同企業89社との親睦組織「獅子の会」を発足し本法人が行う教育研究事業及び教育方針に賛同する企業及び個人相互の親睦を図るとともに積極的な情報交換を推進し研修等を行いながら、学校法人与会員企業の発展に寄与する活動を行っております。

五つ目は、本学は医学部を設置しておりませんが、大学の附置機関としてクリニックを開設し、その結果コロナ禍において大学法人としては最も早期にワクチン接種を実現することができました。クリニック設置が非常な効果を発揮することが出来たのです。

そして、最後に全国の78の地方自治体と「体育スポーツの振興に関する協定」を締結し将来の受験生である小中学生を大学に招き、トップアスリートと交流することにより少子化に向けた学生・生徒募集に結びつける戦略を取っております。

以上、ここ数年取り組んできた具体的な事象6点について、ご報告させていただきました。

ところで昨年度、日本体育大学の同窓企業人を対象に第1回日体未来応援団・新春名刺交換会を開催し約100名を超える同窓生にご参加いただき、実りのある会となりました。今年度は獅子の会の皆様にもご参加いただき、本学卒業生の企業人との交流を深め、昨年同様100名を超える皆様にご参集いただきました。

これからも全国の同窓生の皆様と連携を深め、魅力的な大学、誇れる大学にして参りたいと思っております。今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、今後とも同窓会と日体大グループ全体が連携し日体大がさらに進展していくことを期待しております。同窓会のますますのご発展を心より祈念し挨拶とさせていただきます。

大学の現状 2023-24

日本体育大学
学長 石井 隆憲



同窓生の皆さん、日頃は日本体育大学の活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。また、この度の能登半島地震により、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、前回の日體人の発行からちょうど一年が経過しました。そこでこの一年間の大学の活動について簡単にご紹介し、現在の大学の考え方についてもお伝えしたいと思います。

2023年3月に行われた卒業式は、まだ新型コロナウイルス感染症の影響もあり、午前と午後に分けて実施しました。4月の入学式からは新型コロナウイルス感染症前のように新入生が一堂に会して開催することができました。5月には新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受けて、大学での活動もほぼ、従来の形に戻ることになりました。実習についても、日程を一日短縮しましたが、これまで通りの実習を実施することができました。また、8月にはスポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科の100名の定員増が文部科学省から認可されました。

入試の状況について本学は、今のところ順調ではありますが、令和5年度の私立大学600校を見渡すと、定員割れを起こした大学は53.3%でした。このような事実は、間違いなく、少子化の影響と入試に対する受験生の行動変容が色濃く映し出された結果だと思われます。報道にもありますように新型コロナウイルス感染症を境として、受験生の動向は大きく変化し、これに対応する形で各大学の入試の在り方も変更されてきました。受験生も入試は年内で決めていく傾向が強まり、また、物価の高騰などの影響もあり、地元志向の受験生も増えていることもわかってきました。

このような中、本学では昨年から大学の魅力を伝えるために、これまでの日体大のイメージを変化させていくような活動も続けています。なかでもスポーツの価値や役割が拡大したことによって、スポーツとの関わり方に多様性が生まれたことに着目し、この点を中心に日体大の魅力を伝える取り組みを行っています。例えば、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった関わり方は、こうした多様性に対して本学がどのような学問的なベースを持ち、またそれが一つの学問体系として学部を構築しているのかを説明してきたわけです。これまで日体大は「アスリートの大学」「教員養成大学」といったイメージがありました。今後は、こうしたステレオタイプのイメージだけでなく、体育・スポーツの多様性に対応する大学としての新たなイメージの追加も必要だと考えています。

最後になりますが、本学も含め、日本の大学は今まさに大きな転換期を迎えています。本学がこれからも第一線で活躍し続けるためには、同窓生の皆様のご支援、ご協力があった成しえるものだと思いますので、これからも引き続き応援くださいますよう、お願い申し上げます。

陸桜会の、今と未来

～日体大陸上競技部100周年へ向けて～

陸桜会 会長
神藤 昭嘉



日本体育大学同窓会 会長
高田 佳朗

陸桜会とは、日本体育大学学友会陸上競技部の発展に寄与することを目的として発足した、日本体育大学学友会陸上競技部の卒業生を中心とした組織です。母校陸上競技部の発展への寄与以外に、会員相互の親睦と陸上競技の発展を目指すことを目的として活動しております。

今回は、陸桜会の会長である神藤昭嘉氏と日本体育大学同窓会会長の高田佳朗で対談を行いました。

高田 神藤会長、本日はよろしくお願いたします。
神藤 こちらこそよろしくお願いたします。

日体大陸上部の転換期

高田 大学時代についてお聞かせいただけますでしょうか。

神藤 私の大学時代に陸上部は大きな転換期を迎えていました。色々な新しいことに挑戦をしていて、例えば沖縄・台湾に遠征もしました。

横浜・健志台キャンパスに新しいグラウンドを造ることとなり、当時は陸上部員たちが手作業でビニールのコーステープを貼っていきました。

また、3年生のときに箱根駅伝で初優勝して、日体大の5連覇が始まりました。そこから駅伝で頭角を現してきましたね。

陸桜会で陸上競技の発展を目指す

高田 次に陸桜会のことをお聞きしたいと思います。陸桜会の会長にはいつ就任されたのですか？

神藤 昨年4月からです。それまでは加藤先生が務められていたのですが、体調を崩されてしまいました、私が引き継いだかたちになります。

高田 現在、陸桜会の会員は何名ぐらいいらっしゃるのですか？

神藤 多いときには1,000名近くの会員がいたのですが、現在は約500名です。最近では若い人たちに陸桜会の存在が周知できていないという問題を抱えておりまして、高齢化が進み、これが会員の減少につながっております。

そこで、今年度は、陸上競技部の横山部長にお願いをして、卒業生の納会で陸桜会をPRする機会をいただき、会の主旨をお話しさせていただく予定です。そ

して、ひとりでも多くの若い会員を確保するとともに皆さんに「会員になってよかった！」という会にしたいと思っております。

陸桜会の主旨は大きく2つあります。ひとつは、母校の学友会陸上部を支援し、その発展に寄与すること。もうひとつは、会員同士の親睦を図りながら、陸上競技の発展を目指すことです。

そうした想いの中、36年前の北海道インターハイの時に第1回の懇親会を開催し、兵庫県の井実先生を初代会長として「陸桜会」を発足しました。このときには170～180名の参加がありました。

高田 36年前のあの北海道インターハイのときに第1回の陸桜会だったのですか？

神藤 陸桜会では、インターハイの席上で、優秀選手育成の指導者表彰を行っており、毎回、立派な盾を作って活躍した方々を表彰しています。これが陸桜会の大きなイベントです。

もうひとつは箱根駅伝に対するサポートで、陸桜会からわずかな金額ですが、12月に激励金をお渡ししています。

駅伝が強くなるために…

高田 箱根駅伝のことが出ましたので、ここで駅伝についてお聞きしたいと思います。現在玉城駅伝監督も、とても頑張っていると思いますが、なかなか成果が出ないようですね。

神藤 そうですね。スカウティングがなかなかうまくいかないというお話を伺っています。

高校生が進学先を決める理由は、金銭的なものもあると思うのですが、それと「合宿所＝環境」なんですよね。それを考えるとあの合宿所は古いですね。各大学新しく立派な合宿所を建てているので、そちらを見て比較するともう必然的に高校生はそちらへ行ってしまおうのでしょうか。

高田 私も同じ話を石井学長から伺いました。そこで学長は今回寄付活動を始めたいと思ったそうです。陸桜会だけでも500名の会員がいますし、同窓会としても是非拡散しながら寄付金を集めていこうと思っております。

神藤 そうですね。いろんなところで知恵を出し合いながらも、金銭的なサポートというのはやはり欠かすことはできません。スカウティングという側面か

ら見ても大事な部分だと思っています。

高田 やはり駅伝となると、今は優秀な選手が入ってくることが大前提ですからね。

神藤 箱根駅伝小史の原稿にスカウティングの問題について書かせていただきました。日体大に入学してくる選手は、箱根駅伝に出場している大学のなかではそこまで強い選手ではありませんが、入学後の成績等を追跡してみますと選手の実力の伸び率は箱根駅伝出場校で最上位です。それだけの指導力が玉城監督にはあります。そこは大いに評価するべきですね。ゆえに駅伝の強化を考えると、スカウティングに関する条件整備をする必要があると考えます。

箱根駅伝は、日本を代表する正月の恒例行事であって、同窓の皆さんも注目する大きなイベントで、他の競技とは大きく異なります。駅伝が強くなるということは、日体大が大きく伸びていくための活力になると思っています。ぜひ、箱根駅伝を応援していただきたいと思っております。



「駅伝を応援する会」の発足について

第100回東京箱根間往復大学駅伝競走で本学の本選出場は、76回連続でしたが、近年ではシード権を獲得することが難しく、選手の勧誘にも苦慮しております。また、選手たちの生活の場となる合宿所は、複数人で部屋を共有しているため、感染症等の流行風邪への対応を含む、コンディショニングの難しさを抱えております。

こうした状況から、選手の生活環境の整備をはじめとした支援が必要である、といった声が各所より上がっており、関係各所とこの点について相談をした結果、「駅伝を応援する会」を発足して、皆様からのご支援をいただくことが適切である、という結論に至りました。

そこで、学校法人日本体育大学ホームページの「寄付のお願い」に、「陸上競技部駅伝ブロックへの支援」の項目を追加させていただきました。貴重なご寄付は、選手たちの生活環境の整備や各種のサポートを目的に使用させていただきます。どうか本会の趣旨をご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。

プロフィール

神藤 昭嘉 (旧姓 馬場)

昭和45年3月卒 佐賀県出身
福岡大学附属大濠高等学校→日本体育大学

大学卒業後、神奈川県立体育センター、相模原市立旭中学校、神奈川県立上溝南高等学校、神奈川県立荏田高等学校、神奈川県立相模田名高等学校にて陸上競技部顧問として数多くの優秀選手を排出するとともに、箱根駅伝第56回大会から第61回大会まで、母校日体大駅伝ブロックのコーチとして2度の優勝に貢献した。また、全国都道府県女子駅伝の神奈川県チームの監督としてチームを優勝に導いた。

昨年度まで相模原市陸上競技協会会長を12年間務め、現在は名誉会長として小学生の陸上教室を始め、多くのスポーツイベントにおいて子どもたちの健全育成に尽力している。

日体大陸上競技部の100周年

高田 今後の陸桜会の活動についてお話しください。

神藤 ちょうど来年(2025年)が日体大陸上競技部の創部100周年なので、これをひとつの契機として様々なかたちで陸上部に対する支援も充実したいと思っています。そしてぜひとも100周年を成功裡に収めたいと思っています。

女子においては、関東インカレや全日本インカレともに総合優勝3連覇をしていますし、男子も今後に期待ができます。さらには、駅伝においても優勝してエッサッサができることを願っています。

高田 それを機に会員が増え、活動がより活発になると嬉しいですね。今回、陸桜会への登録についても広報させていただきます。

神藤 今年はインターハイが福岡です。福岡は同窓生も多く、陸桜会の会員も多いので、盛り上がると思います。

高田 今回、対談をさせていただいて、これまで知らなかったことがわかりました。本当にありがとうございました。

神藤会長もまだまだお元気ですので、引き続き母校日体大と陸上競技部の発展にお力をお貸しください。私も微力ながら協力させていただきます。本日は、ありがとうございました。

神藤 こちらこそありがとうございました。

陸上競技部100周年記念
実行委員会より登録のお願い



令和5年度 事業報告

全国規模研修会等

母校 日体大の入学式は、久しぶりに5学部が一堂に会
する式典となりました。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症
に位置づけられ、対面での役員会を開催いたしました。

4年ぶりに学長招待代議員懇親会も開かれ、翌日には
代議員会を開催、役員改選を含む議事について、原案通り
承認されました。

なお、事務局長会議は各地区協議会時に分科会開催、
教育実習巡回指導反省会は各支部において行われました。



日本体育大学入学式

令和5年4月3日(月)
東京・世田谷キャンパス
●塩谷会長ほか本部役員が出席

全国代表者会議(代議員会)

令和5年5月27日(土)・28日(日)
東京・世田谷キャンパス
第1日目(午後)
●第1部:塩谷会長挨拶の後、大学より学長挨拶
及び入試・就職状況等説明、質疑応答
●第2部:法人より松浪理事長及び
今村常務理事の挨拶・講話
●会議終了後、学長招待代議員懇親会(Nレストラン)
第2日目(午前)
●令和4年度 事業及び決算報告
●令和5・6・7年度 役員改選案審議
●令和5年度 事業計画及び予算案審議
●ブロック毎、打ち合わせ等

就活応援イベント2023

令和5年12月2日(土)
メタバース空間を活用し実施
●本紙P12にて別途報告

日本体育大学卒業式

令和6年3月15日(金)
東京・世田谷キャンパス
●高田会長ほか本部役員が出席

役員会

第1回

令和5年5月13日(土)
東京・世田谷キャンパス
●令和4年度 事業及び決算報告案
●令和5年度 事業計画・予算案の審議等

第2回

令和6年3月9日(土)
東京・世田谷キャンパス
●令和5年度 事業及び決算報告案
●その他報告・懸案事項等

本部役員 顔合わせ会

令和5年6月24日(土)
オンライン(zoom)

執行部会・幹事会

第1回

令和5年9月23日(土)
東京・世田谷キャンパス
●プロジェクトチームについて

第2回

令和6年3月9日(土)
東京・世田谷キャンパス
●プロジェクト活動報告等

同窓力士激励会

大相撲七月場所(愛知県)

令和5年7月2日(日)
名城大学



大相撲三月場所(大阪府)

令和6年2月29日(木)
大阪キャッスルホテル

ブロック会議

7ブロック体制となり、全ブロックで対面開催となりました。担当支部におかれましては、大変にお疲れさまでした。そして開催
にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。以下、開催順に会議や懇親会の様子を報告させていただきます。



九州地区協議会(長崎県)

令和5年6月10日(土) | グランドパレス諫早



中国・四国地区協議会(広島県)

令和5年7月8日(土) | 広島ガーデンパレス



北海道地区協議会(道東・網走市)

令和5年9月2日(土) | 網走セントラルホテル



東北地区協議会(秋田県)

令和5年10月28日(土) | プラザホテル山麓荘



近畿地区協議会(奈良県)

令和5年11月11日(土)
THE KASHIHARA



北信越・東海地区協議会(三重県)

令和5年11月18日(土)
ホテルグリーンパーク津



関東地区協議会(茨城県)

令和5年11月25日(土)
ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸

女子同窓の集い

他、全7ブロック会議内において、女性部会を開催

関東女子同窓の集い(東京都)

令和5年5月28日(日)
アルカディア市ヶ谷

九州女子の集い(福岡県)

令和6年2月17日(土)
ホテルクリオコート博多



本学史上初!! メタバース就活フェスを実施しました!

令和5年12月2日(土)に“メタバース就活フェス”が
本学の学生支援センター学修・キャリア支援部門の主催で行われました。
今回の企画は、メタバース空間を活用した業界セミナーであり、ゲーム感覚で
企業情報や業界研究ができる“本学史上初”の就活イベントでした。

イベントには数多くの企業採用担当者様にご登壇いただき、
参加者が多様な業界についての情報を得ることができたことはもちろん、採用担当者
目線での面接試験のポイントや、就活の進め方についてのお話がありました。

また、イベントには本学OBのお笑い芸人「はるのすけ」様や、
同窓会員も参加しイベントを盛り上げました。



就職活動の進め方についての講演



企業の採用情報や同窓会の活用方法など
気になるトピックが盛りだくさん



スペシャルステージ(お笑い芸人 はるのすけ)様

「第2回 日體未来応援団 新春名刺交換会」に参加して

幹事長 巴 伸一

令和6年1月20日(土)帝国ホテルにおいて「第2回日體未来応援団 新春名刺交換会」が開催されました。昨年は、同窓会主催での開催でしたが、今回は学校法人日本体育大学が主催、多くの獅子の会の方々にも出席いただきました。

開会に先立ち、能登半島地震で亡くなられた方々に対して哀悼の意を込めて黙とうを捧げました。

松浪理事長のあいさつ、同窓会高田会長の乾杯で幕を開け、出席されている方々相互に名刺交換や交流がなされました。松浪理事長や今村常務のもとには多くの方が列をなし、中には記念写真を撮られる方も見られました。

続きまして行われた石井学長による大学の現状報告、八木沢副学長からの大学就職状況報告にも、参加者は真剣に聴き入っておられました。

私も何人かの方々とは名刺交換をして、話を伺うことができましたが、最近の好況を反映して業績を上げている事業所が多いこと、その反面で人手が不足して事業を拡大できずにいることを話されていました。この傾向は来年度も続くとの予想でした。これまで、雇用された実績のある事業所の方からは、優秀な日体大の卒業生をぜひ採用したいと懇願する声も多くありました。こうした状況は日体大生にとって大きなチャンスであると実感しました。

この他、能登半島地震の発災後、素早く現地に赴き、医療支援対応をされた保健医療学部救急医療学科の小川学科長、鈴木准教授から能登半島地震の報告がありました。ニュース等では伝わりにくい現地の状況と被災者の窮状が説明され、その中で、日体大の卒業生や学生も災害医療の現場で力を発揮していることを一人の同窓として誇らしく感じました。

結びに今村常務から、学部設立に関わる興味深い話を含めてお礼のあいさつが述べられ、全員で校歌を斉唱し閉会となりました。

この会を契機に参加された100名を超える日体大を支えてくださる皆様と全国で活躍している同窓の方々の協力を得て、同窓会が抱える企業人会の充実や会員の掘り起こしや在学生への支援等、様々な課題の解決に向けた一助となるようさらに努力を続けてまいります。

今後とも皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。



「日体大卒業生健康寿命延伸プロジェクト」 2023年度アンケート調査のご報告

日本体育大学 体育研究所 研究プロジェクト3 | 岡本孝信 菊池直樹 齋藤義信 橋本佑斗



調査にご協力いただきありがとうございました!

昨年9月から10月にかけて実施させていただきましたアンケート調査に際して、皆様には多大なるご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。今回の調査は、卒業生のうち50代前半の卒業生を中心として1,621名にアンケートを送付し、389名からご回答をいただきました。皆様のご協力により非常に高い回収率を達成できました(図1、表1)。

今後は、皆様から頂いたご回答を基に、より多くの卒業生の皆様に健康寿命の延伸に役立つ情報を提供して参ります。引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

プロジェクトリーダー 岡本孝信

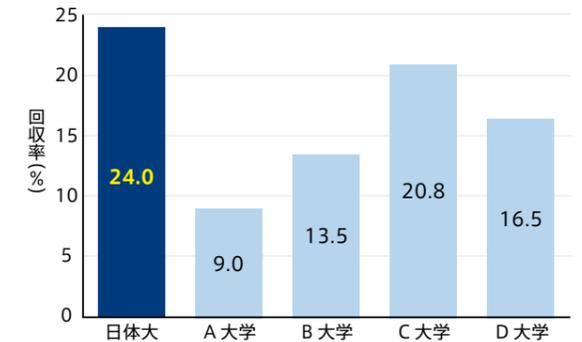


図1. 卒業生を対象とした調査の回収率

調査結果速報! 身体活動量と人生の幸福感^{※1}

日常的に身体を動かすこと(身体活動)は、心身の健康を維持する上で非常に重要ですが、世界保健機関の推奨基準^{※2}を満たす人は半数程度です⁽¹⁾。今回の調査では、日体大卒業生は7割以上の方が基準を満たしており、幸福感も全国調査の平均値⁽²⁾より高いことがわかりました(図2-3)。

※1:速報であり、確定した結果ではありません。全国平均は参考値です。
※2:中強度の身体活動を週に150分、または高強度の身体活動を週に75分、またはこれらと同等の組み合わせ。
参考資料:(1) 笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2020
(2) Hitokoto et al., 2015.

| 回答者 389名 | 性別 | 50歳未満 | | 50歳以上 | |
|-------------|----|-------|-------|-------|-------|
| | | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 247名 | 男性 | 43名 | 17.4% | 195名 | 78.6% |
| | 女性 | 40名 | 16.5% | 99名 | 79.5% |
| 不明 | | 9名 | 3.6% | 3名 | 1.2% |

表1. 回答者の性別・年代別人数

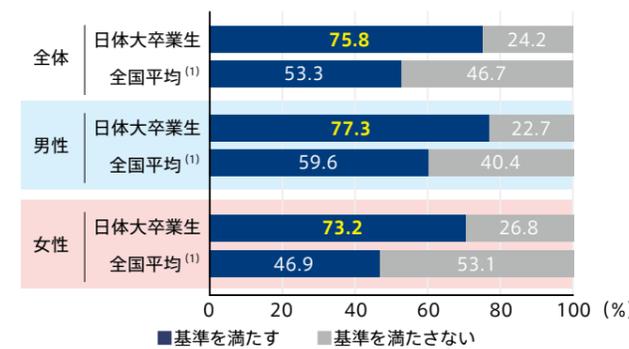


図2. 身体活動量の基準値を満たす人の割合

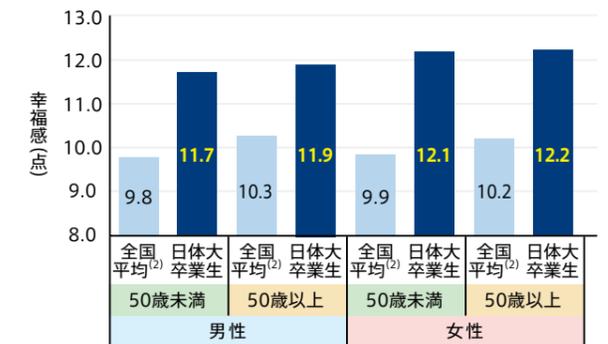


図3. 幸福感の得点の平均値

今後の予定について

今後は在学時の体力(表2)やスポーツ活動が、現在の身体活動量や心身の健康にどのように影響するか分析し、報告書として公開致します。また、得られた成果は学術論文として国内外に発信する予定です。正確な情報をお伝えするためにはデータや分析結果の精査が必要となりますので、今しばらくお時間を頂戴することができれば幸いに存じます。

身体活動量や遺伝子の調査、体力測定をご希望の方については別途ご連絡致します。

| | 50m走 | 持久走 男子 1500m 女子 1000m | 握力 |
|----|-----------|-----------------------------|--------|
| 男性 | 日体大生 7.0秒 | 5分 39秒 | 50.0kg |
| | 全国平均 7.4秒 | 6分 32秒 | 41.8kg |
| 女性 | 日体大生 8.2秒 | 4分 14秒 | 30.2kg |
| | 全国平均 9.1秒 | 5分 22秒 | 26.5kg |

表2. 新体力テストの平均値(参考)

お問い合わせ 日本体育大学 体育研究所 研究プロジェクト3 電話:03-5706-0992 e-mail:longlife@nittai.ac.jp

アスレティックデパートメントについて

アスレティックデパートメント (AD) の歩みと組織構造

1998年に新規開設された「スポーツ局」が現在の「AD」の前身でした。そのミッションは、主にオリンピックで活躍する選手の支援をすることでした。そして、当時つくられた支援の仕組みや組織構造は、その後の本学の組織変革等にあわせて改修されてきました。

現在のAD組織(右図)は**競技強化部門**、**キャリア支援部門**、**マーケティング部門**の3部門と、**ハイパフォーマンスセンター**、**コーチングエクセレンスセンター**、そして**スポーツ・トレーニングセンター**を含む3センターで構成されています。また、この3センターが協力して競技の医・科学支援を実施している日体大アスリートサポートシステム:NASS*も組織内に位置づいています。2021年度には東京オリパラ2020大会開催後の本学の競技強化に関する中長期計画書「ADビジョン2030」をまとめました。



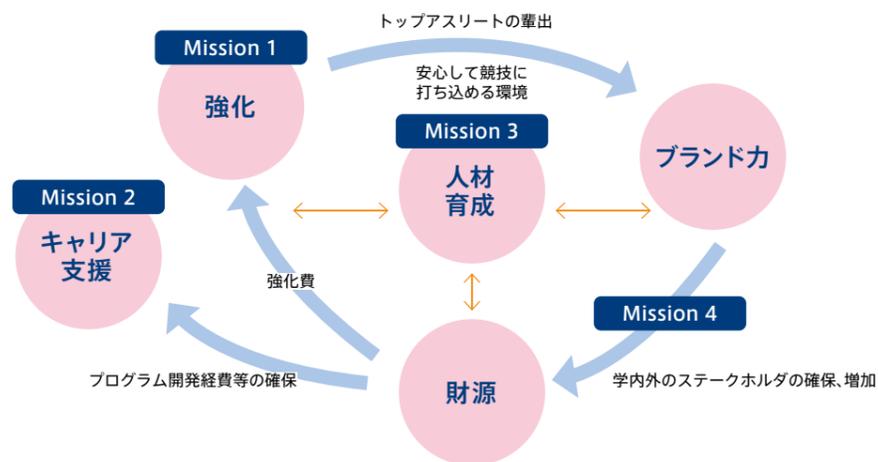
* NASS: NITTAIDAI ATHLETE SUPPORT SYSTEM. 2014年東京オリパラ2020大会を契機に発足した本学独自のスポーツ・科学支援システム。本学のスポーツ医・科学の専門家52名が携わり本学学友会40団体を越えるチーム、選手を支援している。東京オリパラ2020大会では69名の本学関係出場選手のうち38名がその支援を受け、この中にはメダル獲得選手も複数含まれる。NASS詳細については右記、本学HPを参照ください。



ADのミッション

「ADビジョン2030」に記された4つのミッションを紹介します。ADの強化に関する価値の本質は「**継続的にトップアスリートを輩出し続けること**」であり、以下の4つのミッションに同時に取り組み成果を上げていくことを狙いととしています。

“継続的な強化を図り、トップアスリートを輩出し続ける”



4つのミッションに同時に取り組むことで好循環を創出します。

「優れた競技力」は日体大の大きな特徴の一つであり、これまでの先人、選手と指導者が努力に努力を重ねて築いてきた大切な伝統です。この競技力を選手、指導者以外の側面から支えようとする日体大のアスレティックデパートメントの組織、取り組みについて紹介させていただきます。

Mission 1

競技強化 国際的に活躍するアスリートを育成・輩出する。

- 重点強化種目の認定 : 選考区分 (S, A, B) の基準に照らして選考、認定し、強化支援を実施する (今年度は18種目を認定)。
- 重点強化選手の認定 : 選考基準 (A, B, C) に照らして選考、認定し、強化支援を実施する (今年度は26名を認定)。
- 専門職コーチの配置 : 重点強化種目等に専門職 (監督、コーチ、アシスタントコーチ) を配置している (今年度は13種目16名を配置)。
- スポーツ医・科学支援 : NASS とADトレーナーの優先的利用
重点強化種目、選手、指導者は優先的、且つ、より専門的にNASS、ADトレーナーの支援を受けることができる。また、NASSの支援対象者は現役学生だけではなく、国際的に活躍する可能性があるOBOG選手も含む。ADトレーナーは選手のマッサージなどコンディショニング治療を実施するトレーナー(週5日×4~8時間配置)。

Mission 2

キャリア支援 学生アスリートが、理論と実践の両面から体育・スポーツについての学びを深め、自身のキャリアを切り拓くことを支援する。

- 支援 : 国内外での遠征等が多いアスリート学生に対して提案している。
- 入学前セミナー : 強化指定種目等に関わる入学予定者を対象としてセミナー等を開催している。

Mission 3

人材育成 良質な強化現場のコーディネートを通じて、国内外で活躍する指導者、研究者等の人材育成を推進する。

ここでのスポーツを支える人材とはコーチ、マネージャー、トレーナー、医・科学サポーター等を意味し、選手・指導者をその専門領域の立場から支援する専門家のことである。このような支える側の立場を進路として希望する本学学生を対象にADでは「スポーツを支える人材育成プラットフォーム」を設置して、学内の様々な組織(学部、大学院、NASS、教員ユニット、クラブなど)と連携して支える人材育成の場をコーディネートしている。本学の誇る優れた競技フィールドは支える人材を育成する優れたファームにもなり得る。

優れた競技フィールドを利用してスポーツ・身体にまつわる人材育成を実現する



Mission 4

マーケティング ブランド力向上等のマーケティングに取り組み、自立的で持続可能な仕組みを構築する。

強化に必要な現状以上の財源を確保し続けること、また、それらの財源を効率的、戦略的に投資することが重要である。ブランド力向上等のマーケティングに取り組み、自立的で持続可能な仕組みを構築することを狙っている。

今後、本学の伝統である「競技力」をさらに発展させるために、本学の選手、指導者への様々な競技強化の支援方法を研究・開発しながら、より成果が得られるよう進めて参ります。今後も変わらぬご理解、ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



アルティメット



ソングリーディング



少林寺拳法



体操



剣道



エッサッサ



集団行動 I



朝鮮舞踊 (朝鮮大学校)

第60回 体育研究発表実演会

「Power of Sports」をテーマに、令和5年11月15日(水)横浜アリーナにて2年ぶりの開催となりました。
新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み、観覧者数を制限しての開催としておりましたが、令和5年5月より5類感染症となり、制限のない通常開催、約11,000名の方々に足をお運びいただきました。



YouTubeにて
全編動画
公開中!



1. エッサッサ
2. 集団行動 I
3. ハンドボール
4. ソングリーディング
5. 少林寺拳法
6. 新体操
7. 体操
8. 剣道
9. アルティメット
10. 朝鮮舞踊 (朝鮮大学校)
11. チアリーダー
12. 集団行動 II
13. フィナーレ

POWER OF SPORTS



新体操



チアリーダー



ハンドボール



集団行動 II



フィナーレ

同窓会誌発行協力金について－御礼

「日體人」第11号にてお願いいたしました協力金につきまして、これまでに約2,200名の方々からご支援をいただきました。ここに皆様方のご協力に厚く御礼申し上げますとともに、感謝の意を込め、お名前を記させていただきます。(ご了承が得られた方のみ掲載させていただいております。)

北海道ブロック

小池春雄、藤田一郎、井戸英樹、篠原静雄、鈴木則行、小谷麗子、小嶋丈幸、井戸柳子、前東昭、多田順一、前多正彦、松本紘一、相原昇、井淵俊昭、関根喜和、菅野良則、臼井義典、菊池ヤエ子、齊藤修平、久保田博三、田辺瑞夫、今野靖政、山口邦昭、紺屋正雄、佐藤忠吉、菊地興國、前野和義、大石敏夫、鍵市勝秀、岩淵秀一、三ヶ田紀夫、竹田悦郎、谷浦隆、仲野英司、福土正敏、金田隆一、外館静代、榎本眞智子、林紀博、安田吉晴、丹野寛、佐藤博明、磯貝正之、遠山裕生、阿部俊文、渡邊由美子、佐藤佐知子、目黒徹、藤代弥瑞子、秋野禎見、田中俊一郎、中木克明、佐々木雅恵、吉田敦一、伊藤光男、小山恭弘、岩瀬均、深澤健、壽浅章洋、高田亨司、徳増秀隆、野田克弘、信清昭人、日比生司、久朗津義晃、菊地清司、松井幹次、藤田浩道、三田英郎、松井和子、福原成人、牧野克彦、關川輝之、寺島賀寿生、菅原和宏、斎藤嘉英、五十嵐康治、遠藤大地、川口巧、秋野ゆい、山田雄熙

東北ブロック

工藤諒子、松田弘、阿保日出一、山田弘、船水高志、船水友治、宮崎忠治、小枝兼悦、岩見幸夫、春藤英徳、月詔智恵子、貝瀬章、奥静子、栗村昭雄、今野賢吾、山口勝、石玉眞一、柳谷強、川井忠彦、八戸秀男、宮地善道、山田正明、笹木正信、村崎正司、島口勝幸、斎藤和子、西谷義廣、中田曜子、工藤徳美、澤田晴美、後藤憲郎、安保敏彦、田代美紀子、塩谷喜兵衛、廣谷滋、野崎尚文、山谷由美子、野上新二、野呂牧子、道川功、高谷亮徳、赤川堅蔵、毛江田久雄、山崎澄子、升屋文夫、金森幸志、餅田茂、阿部由貴子、芦田良子、栗田崇、渡部俊夫、半田祐毅、大野隆夫、塚田泰志、大高尚士、木村正、高田和男、堀川永蔵、柴田鐵四郎、成田道子、鎌田耕平、飯泉恵美子、半田広、尾形隆、小笠原眞理子、二田隆、金子良雄、松岡伸幸、中川忠博、嘉藤喜隆、船木正博、大山裕一郎、牧野隆一、高橋範夫、黒田清志、安藤純、村山一郎、柴田衛、鬼川美佐子、青柳正隆、上杉英文、関村幸子、今野敏行、前田真、阿部幸輔、佐藤洋、三浦和也、伊藤聡、大沼一義、三浦英人、佐藤聖子、小松満、谷川原宏一、小野総志、切替桂、片山貴光、佐々木信吾、成田郁子、熊谷洋、五十嵐友和、皆川将章、畠山静香、伊藤あゆみ、渡邊寛也、原田きよ子、鈴木清次郎、村上光太郎、上村佳邦、佐藤仁実、津志田静徳、吉田柚夏、星野帆乃華、設楽紀美子、田澤昭子、寺沢康三、小笠原一枝、里義信、斎藤三五、松田明美、富田俊実、小川節子、荘司敏博、齋藤隆、鈴木淳一、酒井宏幸、齋藤範夫、奥山晴美、土門敦、尾形綾子、金子尚、岡崎雪華、小枝千雪、赤坂英昭、岡崎典生、高橋志帆、佐々木優、工藤浩輔、飯塚啓伍、齋藤元希、佐藤卓弘、小野徳子、夏井忠宏、鈴木洋一、古市大輔、成田憲永、佐々木信広、半澤庄多、高山恭治

関東ブロック

藤崎泰助、渡辺哲也、永井薫、川鈴木洋子、河田依子、小泉陽一、泉純一郎、市川善章、鈴木定治、坂本静、林耕三、小倉培夫、方波見成生、小島益男、若林洋子、荒原稔、飯島稔、原英夫、平塚昌利、須藤正巳、赤澤稔、榎戸努、榎戸康、野口洋治、羽成邦男、渡邊良江、富島進、武田弘、寺門昌洋、飯嶋万喜、菊池哲也、幾永昌英、川松貴弘、鏡尊夫、黒川英樹、市川博章、山田健一朗、小堤恵子、高野文利、仲田芳晃、小室大地、元木博紀、嶋田榛実、相良摩州、大岩拓実、河野慶太、江口綾香、兎澤朋美、上环聡、和氣美紀、関智則、古橋茂、人見将司、長尾耕輔、鎌田葉月、山本みさほ、明石六郎、小林進、小林靖子、小林孝昭、植原昌子、田中悦子、荒川シズ子、湯浅聰子、木村治代、鳥羽完司、見田照雄、角田正三、廣田誠、岡田恒雄、須賀弘二、河崎和代、福田明美、柴田耕、齊藤光男、橋爪俊夫、青木仁嗣、稲垣隆一、高橋忠、松本邦夫、松岡久登、多胡英里子、桐生直、井上哲男、柳岡政一、永井正、小池務、江熊美地、横山ひとみ、小山信一、秋山雅仁、福地豊樹、三浦知哉、松坂和芳、西宮茂、舟喜信生、細淵晋一、高橋晴男、遠藤仁、佐藤セツ子、清水武夫、安齊義宏、根岸敦子、田中規王、渡辺紀子、中野清治、大野浩江、田中徹浩、篠宮剛、青山三智子、根岸由美、坂爪亮介、桑原成美、西川遥香、石井弥沙、小林泰正、蜂須静香、星野百合子、長坂道男、木村哲男、田中稔、橋本壽夫、永嶋龍次、柴田勝夫、町田昶、渡邊隆洋、梅村寿一、種村輝男、柿原順子、松本軍征、林勝彦、城戸啓一郎、明石正和、武又香代子、中田次夫、高橋隆也、塩田壽久、山本松枝、荒川哲男、大畑春雄、小橋川和子、中野利一、中村了、磯部富美子、松本文夫、松島伸一、三上和男、沖野英逸、相馬健司、新島隆光、中川浩子、菅間茂久、種山保司、土田正行、関川隆、小暮三恵、清水信之、及川哲、原田康弘、青木絹子、並木正成、菅原康、杉浦正和、高野庸夫、庄司一也、岩川泰己、深谷精一、島田丈晴、井上卓、高橋良典、竹園雅一、平澤淳、山中久夫、大村貴臣、野間恵美子、大岩辰裕、中田典子、中根一幸、小島輝夫、川嶋仁、朝倉工、加美山隆俊、八木宏行、小野木史絵、相内政人、山田ふみ、福島沙織、服部訓彦、宮本一輝、藤井幸司、平沼裕美、飯嶋厚、寺澤晶尊、齋藤修仁、丸山舞、吉田隆晟、澤畑佑介、中西健太郎、永田志織、堀江伊彩那、荻原迪彦、鶴見修治、松盛寿子、川嶋与四郎、本間誠章、出口節、積田麗子、仁谷秀夫、佐久間剛、瀧澤康二、大山象二郎、関口一眞、加藤栄一、向井廣志、佐藤朝美、伊藤良子、箕箸博、白井由美子、高橋幸男、加藤ひで子、井上暁、戸田正明、石井一彦、笈川徹、南部健、松本義史、豊田武文、川中俊邦、山岸秀規、櫻瀬富美、久保田雅人、岩沢文雄、須藤静子、小路正和、岡本恵子、村越藍子、中西浩二、三浦健雄、北矢宗志、高橋寿恵、松本徳浩、鈴木晴奈、松村拓人、鈴木沙苗、荒川昌紀、小菅由香、篠田和也、山下来夢、堀内健、永田生江、柳田彰、岩崎三樹、尾田政雄、田中一井、木村和子、西森源太、延藤君雄、馬場勇、小尾宏子、小林峰子、三宅啓子、中垣範保、小川清志、高山士、竹内定雄、島田由明、石川光男、浦田輝子、佐々木暁雄、塩崎親宏、榎本和男、河西瑞枝、奥田雄一、磯野安久、上山良昭、時岡喜一郎、山口久夫、今井梢、柳井清文、竹内正雄、近藤光男、坂見敏夫、佐尾山秀治、福田芳枝、山口光恵、吉村辰明、川口法正、村越みどり、桜庭清徳、

江口正信、安藤慶子、藤江和雄、橋本昇、赤堀実、小早川ゆり、日暮博子、鈴木正信、内田勲、藪田有司、角杉美恵子、藤野雅博、村中宏行、高松清、高田幸一、日野喜美子、柴岡三千夫、深沢守之、中島稔、河野隆之、小林幹彦、倉持登、柘植美之、齊藤和子、茂木俊男、飯室治夫、岡安國雄、長瀬直子、飯田圭一郎、大西修、大越洋一、郷登、竹原勝博、木原るみ子、武藤千賀子、菅谷俊彦、三柴博資、笠井里津子、安藤達二、池田伸二、瀬戸徳美、望月幹子、増田順弘、関根隆、星幸男、井筒紫乃、島田広幸、柳田友浩、鈴木昭生、高山和徳、深澤明子、太田久人、吉澤猛、町田信行、池谷俊彦、永島昇太郎、木村博之、清水健司、島雄道子、諸町拓哉、三嶋孝彰、立岩京子、大海二朗、幡野明弘、安藤こずえ、須藤留美、武岡イネス恵美子、下井浩司、水鳥貴裕、佐々木敏夫、布施順寛、瀧澤瑞記、中井康夫、土屋幹雄、脇若綾、合羽真紀子、神保幸次郎、大神田康博、大井和也、中原知美、植月文隆、鈴木良、山崎愛子、角杉直美、岡田隆、本橋慶彦、松永優、江口博康、大谷佳絵、関澤一紘、大井玲子、丹羽優介、田村徳隆、藤倉讓次、鈴木伸洋、高田秀一、原田正之、平山佑奈、柳澤奨吾、古茶翔、祝弘樹、首藤文子、平野光家、淺沼航平、山内健太郎、山寺海里、辻有富、武藤拓己、奈良勇太、後藤圭佑、難波茉莉花、村上茉愛、中村一貴、須山香美、富永龍平、藤亮亮佑、柿沼圭佑、中島郁、近藤美玲、山下玲也、花輪勇樹、別城宏、工藤友記子、川島久美子、岩波和雄、宮根清、高貫洋子、眞如紀子、石塚武夫、岩下聆、松田治廣、千葉吟子、大澤宏子、長谷川陽一、山崎靖雄、上平雅史、月岡靖夫、中島晴規、山崎博明、淵脇建夫、下内義光、大内哲彦、今野睦夫、迫嘉那、鈴木洋祐、久郷信義、川端重義、吉井和夫、入澤隆、江藤孜、藤原三津男、榊原義弘、榊原泰子、関口脩、高橋和志、能條剛、松浪健四郎、森田淳悟、堀川博美、神藤昭嘉、塚越富夫、荒木祐治、金井茂夫、小嶋啓道、清田寛、大平和幸、千葉哲人、大沢興助、岩本正人、鈴木満、山村まゆみ、塩谷和雄、青木信子、長村成子、里見美彦、塩谷淑子、中村ふじ、渡辺晃、荒木達雄、邑楽栄二、白井一正、杉崎勝之、青島純夫、小泉政貴、松尾順一、鈴木偉、大平敦、齊藤美代子、菊地武良、三田敏治、具志堅幸司、巴伸一、吉田和市、早川正人、濱田泰男、土岐真弓、福永いづみ、高田佳朗、田口孝男、鈴木一也、後藤克幸、土岡裕之、高橋勝美、蛭田雄一、村瀬善正、倉田昭人、玉城良二、飯島友子、下條哲哉、藤平直也、田中恵子、渡邊豊、大塚淳、丹澤卓、米山稔、草柳伸、片尾一美、小澤由子、岡本安芸子、丸本和年、岡本孝信、小林正利、長友大、野村忠信、宇佐美大作、小川智子、野村和生、石川大輔、小嶋新太、塚原佳子、森康敏、藤本涉、加藤純弥、細田元、小嶋俊吾、大矢直樹、相馬礼、鈴木世良、荻原まりな、高梨浩三、山口晴美、新井辰雄、久保島一裕、武田和也、藤田ひろ子、佐々木魁士、東洗璃、溝口陽香、仲田誠、今関翼、平野浩太郎、笹田夏実、荒井瑛葉、峯晟、待鳥仁美、西田浩樹、伊藤舞花、家根田朋美、渡邊誠二郎、松尾結衣、清水富美子、齊藤幸枝、宮澤弘美、佐野一彦、上野栄子、浅川大、樋幹也、望月大和、藤原良彦、渡辺悟、奥山実、山本秀治、小林幸次、有賀健、中澤進、小林直樹、深沢一智、杉山理恵、杉山一陽、角田功、吉野正和、大島小枝、霜村孝、橋本祐亮、杉山希高、後藤拓也

北信越・東海ブロック

金子峰、江端麻美、小島祥子、嶋岡隆幸、目黒乃章、田中大輔、岡田曹志、吉川静流、藤嶋郁磨、板屋清孝、瀧脇則子、浦田節子、徳前啓人、木原勝之、石原美紀子、田村幸子、寺島清麿、穴口浩康、清原正雄、金川尚子、山口直次、末永金造、中沖克美、山田義成、清水久至良、嶋田ひろみ、中野登、畑孝子、菊部望、上田啓二、武野修治、中林達男、

粟田淳子、畑下栄志、荒俣範一、森井康代、岩崎修、松下優子、中山利恵、宮前仁、高嶋和彦、水谷秀樹、宮袋誠、池淵直人、野口貴史、坂東隆之、藤井古都里、高橋武史、長崎桂子、三引義晴、金森清明、鈴木三郎、川口信明、宮保滋、村田久恵、村上哲夫、柿島誠一、山本外勝、山村和恵、小餅谷幸博、松井正浩、上田智加子、高沢智子、竹下正人、亀田博人、中村英登、福井有澄、山本泰子、石田純子、上杉芳泰、宮崎聡、北橋浩志、庄田精一、大家義浩、新田智治、丸田利之、福井卓也、中田知邦、板坂兼裕、石田和重、川口徹、櫻井義之介、橋本遙、山本翔也、金崎三恵子、三田村ナルミ、高橋雪枝、藤田忠雄、坂本兼博、岡田明美、岡田盛、高島さつき、阿部登記造、内山智江、中田あい子、波岡恵美子、波岡峻、畠中治男、志々場修二、河合誠、稲沢万里子、北川智津子、國吉成典、坂本欣弥、上野陽子、志々場祐太、川口翔、友兼尚也、原哲夫・淳子、角田幸代、奈良井宏美、細田紀一、齋藤治、御所窪正義、小林武、三輪尚弘、佐々木秀治、小口和子、松本寿行、五味政夫、畠山義人、畠山文雄、竹内義雄、依田正輝、鈴木功、中島千明、中澤才幸、清水正洋、北村泰光、北村礼子、菊池毅彦、小林光嘉、佐藤由姫、横林智子、関孝志、西澤康恵、小嶋日出子、麻原恒太郎、宮澤誠、北村志佳、宮尾宗太郎、田中健司、野口剛彦、田中和幸、柳川慎一、降幡明生、小林晋、齋藤善治、小林勇、唐木敏行、木下智宏、桃井昌寿、佐野秀一、春原弘恵、荻原大士、滝川翔、野口貴登、山寺優作、筒井恒匡、大石和男、長東保江、佐橋保、村山美和、石川博義、永田重郎、伊藤君代、渡邊佳洋、福本利幸、八代和男、深澤英雄、河村サダエ、河村俊彦、八木ほづみ、米山巖、大石周美子、吉田るみ子、池谷孝子、栗原昌子、伊倉恒信、山崎春江、飯田明美、内藤克己、山下眞里、鈴木照久、河村壽浩、大澤満里子、柳下泰子、渡邊温子、根本谷信一、中村佑子、杉村敏英、村松高雄、市野光康、近藤伸明、大池彰一、野島年廣、太田好信、松島育治、榎本恵子、齋藤健二、宇田嘉隆、細澤覚、入山幸子、林和代、辻鎖雄、匂坂幸子、依田京子、加藤智代、松田清孝、花島宗一郎、笠井弘昭、村松英子、落合直人、山崎隆雄、野崎敦子、石井宜明、関政則、佐藤隆夫、杉本芳和、本田高一、鈴木宰、高木東、櫻田人士、山内信之、太田仁美、寺田勝美、荻祐享、高橋秀行、平岩東、山下修平、山口寿美子、浅田藤二、佐々木禎、木本恭嗣、藤井あや子、石橋照幸、神谷香子、河村智可、本田正明、高橋啓伸、井出智子、村上佳宏、山村千宮、松永恵史、川口明美、勝亦俊尚、宮川朋子、堀江直樹、松永美成、堀勤、本多整、鈴木信子、金沢隆、岩倉和彦、熊本宣博、塩谷伸晴、桜井通治、辻田康之、鎌田隆代、寛健司、今西文武、服部暢和、桑名成之、猶村七甫、伊藤喜久治、安井繁男、井関陽一、波多野壽、石田光良、伊藤尋思、加藤隆保、原田照雄、杉山裕二、矢野哲二、笛岡宣明、高瀬則光、高岡義伸、吉田茂之、松井詳吾、楨野均、井上友幸、小川真一郎、岡田正信、小坂卓生、白井雅則、加藤好治、鈴木陸、早川真澄、水野哲也、若杉鋼洋、加藤彰一、諸星明彦、柴田洋介、藤原照明、八木敬彦、齋藤稔、平井博司、今津逸生、山本聡、谷川勝彦、佐野浩史、粕谷守、山本常夫、大野芳樹、富田讓、松井邦幸、浅井俊雄、河合英雄、松川博茂、野村博紀、平吹洋子、吉村浩司、衛藤公彦、友松信之、佐藤丈能、若原隆男、久保田竜弥、春田典三、河合成始、杉原透恭、松本文弘、山田佳世子、茅野典子、小池司、後藤和己、鈴木真吾、則竹崇智、則竹真二、河邊誠一朗、笠松昭宏、植田俊介、後藤宣広、夏目賢希、鈴木賢二、浅野慎之介、小池貢樹、久保田幸一郎、大西蔵人、福井不二男、荒井強平、丸山直彦、武藤紀久、平山哲了、中嶋俊美、方井正隆、宮内貞吉、辻潤治、曾我栄作、丸山優、大坪義平、中垣光弘、杉浦春雄、石田仁、谷口律生、今井一三、今西卓、宮部寿、長瀬朋彦、近藤田都哉、井藤里司、山本悟、山田結子、足立聖弥、秦麗ら、土方一夫、小野かつ、高田大禮、大崎辰機、名古屋彦、伊勢谷和男、天野久、山田源嗣、三井幸夫、奥田典之、

家崎正朗、藤生伸男、柳田陽子、石田誠司、岩谷敏史、中西章、細川正彦、伊藤智之、矢野和司、井尻亜希子、高橋篤志、金谷勝弘、中村吉元、千原宏章、内山朋大

近畿ブロック

岬一夫、花房房子、清水忠和、阪田喜子、吉田文弥、村岸肇子、鈴川英明、中嶋雅己、西本良三、前川和三、友田昭夫、丹田克己、木村清美、岩本忠晴、田中二三代、太田好則、小澤信一、高野貞實、中村丈、北沢まゆみ、柴田善成、岸本英幸、森幸久、稲葉悟、辻田明宏、岡弘樹、塩田義法、橋本祐伊知、松並梨紗、作本正隆、川口宏、八木橋倫子、国府哲也、辻孟彦、中田秀人、木戸口まりえ、荻野創、尾野嵩、田中武彦、杉村富雄、西野健、辻清也、藤井證、松井貞子、志智貴美子、村上淳子、渡智英裕、飯塚十朗、根来寛、米山富士子、小川達二、渡部久美子、中林光子、薬師寺茂夫、井元真智子、河野真一、木下昭雄、山田正夫、渡部光昭、佐伯洋子、澁田勝彦、村田陽、片岡登志子、飯田加代子、山下康夫、村上珠実、飯塚眞佐子、合志睦子、白井徹男、甲斐孝則、津熊美智子、山田徹、佐納世志子、長谷川浩一、安達修三、出射省一、本田幸子、森脇文字、佐藤秀記、安部耕司、白石俊次、太田拡志、渡邊宗治郎、大迫均、新田賢一、小林直也、酒井美明、中尾俊治、山田修、草野勇、新宅幸憲、松本雅美、緒方勇二、正木仁、小須田良子、佐田末勝、大西和雄、松浦義昌、森弘通、南野真吾、登純一郎、齋藤好史、松田和久、釜本浩明、奥谷彰男、岡田光司、大谷登、田口耕二、織田信久、橋本裕之、菅原昇二、魚澄豊治、高橋憲一、山本明彦、寺辻啓介、城越幸一、大門和美、小原伸也、山根義文、岡田典政、源場康広、藤本浩、坂本宏一、岡田敦、朝田浩成、太田秀昭、正司貞真、高橋秀和、中島あゆみ、連基徳、横山聖、近藤静也、佐久間洋甫、樋口黎、三戸口隆盛、大嶋諒人、樋口耀、椎葉実生、西吉高、中田松三郎、土谷里子、土谷秀雄、坂元たみ、花原節子、多久和文則、溝辺亘洋、片岡勝代、西岡英明、田中洋守、松村郁弘、柴田美枝、中村幸司、西川徹、上原奈都子、福岡一泰、辻井雄亮、里田貴彦、石井賢、桑原久仁夫、鶴田宏次、室紀男、榎本豊、九谷俊明、瀬藤栄津子、目良幸治、羽根千恵子、田伏琢也、繁田拓治、小田川正二、青木和教、木原康博、三國暁、森茂一、出口明子、貴志康弘、清水秀美、柴森千賀子、田邊浩二、平尾優子、木村栄、田中雅樹、中南桂太、中西順子、玉置京子、南出大伸、池田匠、柳洋、二宮恒夫、鈴木康夫、米山治三、安井清彦、新井嘉壽美、小川紀代子、西村一信、松田憲明、高見論、西原紀代子、西川美代子、西尾佳昭、光川敏郎、山本孝昭、大塚紘一、山本洋子、迫平勇二、松平忠雅、市橋敬典、阪本勝彦、三宅香、小西迅明、末井健作、田中正弘、三好廣子、荻野確郎、石川裕子、大和川明美、楠正彦、本庄義治、足羽博行、森田良典、野村利光、高寄十郎、丸茂康子、池田正章、常深進次郎、長谷川雅清、出口庸介、比嘉悟、木俣正男、久本信子、奥田勇治、北條清次郎、山口敏克、藤井晃正、前西義弘、埴岡俊一、荒野吉之、荒野恭子、前田学、藤本昌映、村上英明、梶隆保、岡辺清和、飯田良平、寺本浩視、澤井勝、藤井克彦、川島章男、大西伸弘、松陰英人、井上寿一、岡田勝広、橋本省吾、渡邊宇一、阪田幸次、内藤勝彦、海老口明、谷川彰一、嘉原唱光、角本政隆、山本洋一、北峯照之、島田直紀、中谷契己、高畑卓志、野口哲司、東浦一裕、山本千晴、奥村一宏、小倉雄二、生田真、大槻芳裕、澤田政彦、久保敬、川崎芳徳、松浦初江、手塚広行、坂上明、田中浩一、岡本悌二、澤田佳代子、中川正士、浅田雅之、松本敏尚、吉川公明、内海雅章、小林力、大霜安裕、開田守、井上聡、藤原広典、原田宏子、林田克樹、立花敬三、足立竜司、井上雅也、的場久剛、千村啓喜、衣笠文人、高橋拓夢、大槻宗平、本長葵

中国・四国ブロック

牧野紀史、高木敏行、川崎豊美、野田修、福島俊一、松田敏夫、加藤憲雄、日下部みどり、福澤美恵子、篠原重義、植田大介、谷本和子、杉本真由美、北中邦江、民野尚義、森田明彦、宍戸みどり、宍戸靖雄、稲毛靖、松山祥子、後藤弥、高山淳、上坂輝、宍道泰玄、井山勝子、大野典子、城市清、井山充弘、荊尾俊、泊泰三、渡部治人、戸谷純代、新宮和彦、福島弘、小林修平、塚田幸司、森下孝生、石飛誠治、嘉戸俊士、宍道美穂、福間康二、伊藤晶弘、彌重太一、中西諒磨、岩城新一、岡田公彦、三原幸子、恒次沈輝、光岡海音、岡泰生、川中弘幸、大知啓軌、植岡英治、柴田俊章、野村秀治、光下正康、飯田文男、津田美江子、中本厚生、山根洋壮、三上剛、西川弘志、田平一晧、網本恵子、吉川美枝子、木村政美、東風上薫、土井敏正、竹本孝子、兒玉邦彦、奥原滯子、松村允子、菅波眞吾、青坂征弘、橋本礼子、谷口和子、土肥怜子、山田信、樽谷和子、門山早苗、松尾和恵、古本幸治、平岡崇、岡本邦彦、砂田恭明、倉岡克栄、山根勇、諏訪本光、正木文雄、堀江常登、水野克成、谷岡憲三、古川昭生、宮川潤司、高橋正行、田川信昭、宇根昌範、田淵秀彦、折本浩一、堀川淳子、畠中和樹、岡本邦浩、湯浅光範、稲葉智子、細内正彦、因幡和昭、出口彰、東田昌三、馬屋原忍、江草信行、矢山精一、川本有美、中川実、三村千秋、岡本耕治、辻寿子、中野繁、保手濱和益、曾根幹雄、島村雅浩、吉田清、宮地智、石井洋壮、山本憲司、川手一則、熊谷謙次郎、角崎敏彦、永井正光、樋口裕志、重森昇、三浦秀行、羽田岳文、田中みどり、藤原公祐、和田太一、福原博、長見みどり、服部融法、有場亮介、山下幸浩、山王和明、寺尾尚之、久保岡諭司、谷崎大樹、矢山奈保実、中岡洋子、下和田翔平、朝倉健、沖田奈都美、大掛真実、鐵口蓮、荒木良輔、伊場田光、榎尾渚、秋月亨太、大田喜代子、山本恒夫、竹本正雄、岡崎泰信、岡村克巳、中村典男、池元啓明、香川八千代、武本雅勇、坂井信夫、桑原綾子、小澤喜久江、桑原英雄、吉富依子、沖村冷土、武本喜久代、植竹顕一、江藤修三、田中繁雄、勝村靖夫、渡辺靖祐、上成和子、有馬弘、藤原佳代子、高祖嘉秀、河島信行、中村旗四士、松原健二、梅森雅広、高屋英人、重国修、西山由美子、前田香津美、山根紀行、吉田博実、大浪康司、本川典子、塚田拓司、藤井琢也、亀川浩、宮内ひとみ、鈴木三郎、笹原正博、吉水多加志、松嶋伸幸、大浪定之、若林智、平田隆浩、松森泰洋、町田康男、太田真、原川信、高橋等、古谷章、叶山雅隆、神代雅光、赤尾信行、柳田浩司、梶尾延行、堀田茂利、村川浩土、福永敬彦、岡村菜津子、福永光一、佐々木亘、矢原寛之、田中崇志、都倉裕土、黒田良治、高木梨恵、長船真夕、小笠原秋子、青木泰斗、近藤芳夫、馬淵豊茂、丸與健一、宮内隆、上田善一、村井光夫、八木繁喜、前原達三、岸田善文、渡邊英典、丹羽敦子、曾谷浩隆、中津幸男、茨木基良、望月眞代、望月玲於奈、入野末子、中内英明、岡崎佐知子、土居生夫、山本眞二、松田満洲男、中島敏彦、高橋容子、吉岡成、岡本憲和、田所和仁、廣光和彦、松下昇平、坂本真教、佐井智寛、龍山義文、小野純由、渡部晴行、朝井正敏、宇野由男、真木崇、木多一、倉岡正男、近藤克美、五島昌明、清家千秋、城戸眞勝、安永利文、吉田幸子、鎌田和平、田窪徹、藤田正広、浜田良男、須山三陽、松野敏雄、大岩賢次、宇治常春、安川孝司、兵頭千波、高橋徹、藤原英志、森子里子、河野大助、村上克也、兵頭龍哉、石井浩一、秋山和広、伊藤芳明、林恭輔、明比宏樹、山田千夏子、小林大樹、山田柚葵

九州ブロック

時枝末六、西藤嶺、渡邊セツ子、石橋博子、大石洋子、柳井義通、福江訓一、今石貞夫、曾根田幸代、加来國代、篠崎省吾、伊藤正親、樋口龍之、緒方善政、瀬口俊光、山内則李、中村鴻二、田口美樹子、牛島英樹、香月輝一、荒井秀子、五十嵐洋、梶屋とよみ、岡文恵、眞田澄恵、大津修郎、山川正毅、和佐野健吾、秋峯良二、大場重博、谷口孝文、村田和博、中村元、中原保久、楠清茂、小川琢治、平野清、坂井正芳、金子敬人、柳昭博、八尋重昭、田原憲二、有田浩、高橋成隆、小川和明、赤松恒樹、吉永俊嗣、春本文昭、松尾龍美、松尾礼子、江藤雅博、米九浩文、山崎龍之、澤田正義、荒木和謙、田島静雄、今村よし恵、宮崎繁樹、梅田尚男、中尾泰弘、渡邊義隆、森川幸子、吉田和裕、小袋幾代、山本義昭、酒井一記、平位秀敏、松浦聡志、棕本泰子、園田裕之、小袋是勝、山田耕二、原口洋一、大峯淳子、藤木政時、村上健二、白石精子、上妻厚紹、森川壽人、福田安秀、吉田英徳、大庭公正、道園久志、峯隆幸、秋山義弘、亀田栄里佳、佐々木健一、緒方三幸、渡邊透、吉松貞勝、井手口孝、三池龍太郎、野口竜也、田中球磨、中溝直樹、樋口美喜子、菊地啓子、金森靖二、玉置康博、文野政憲、藤田桂子、汐満由佳、大庭晃一、園田照子、白鳥敬彦、末安真次、岩村悌二郎、吉開将孝、松野宣之、武末悠輝、福島大喜、恵良友也、櫻井朋泰、大久保義高、森雅美、白水克明、八田峯男、岸川弘、坂井充、松口鈴子、吉田信代、牛島考信、古屋壽一、川原康嗣、松尾善文、古賀洋、島一満、松隈光哲、長尾一雄、扇山博人、板山勝城、大久保てるひ、川副研二、千綿勝彦、河原俊明、田村豊年、林田茂、山口茂乃、後藤登、嶋田レイ子、島内徹郎、野原征一、友松正幸、松本健治、柴崎悠久雄、五島豊八朗、加藤一之、江頭光男、五島三江、藤岡敬二郎、福貞能章、宮原照彦、山川和則、阿比留和裕、北島重和、溜美恵子、松本康明、山田稔、井川晃治、遠藤雅己、熊野晃三、荒川洋一、松本浩、長門和治、佐藤美智子、井手かおり、大町謙悟、松永六十四、松尾ふみか、豊本翔貴、安部博、石井マサ子、糸永隆章、岡松眞明、福永幹也、外川陽一、斉藤清内、内橋正明、高田修治、廣島忠土、梶田政昭、園田龍吉、野田丞治、久継裕子、尾崎恵利子、

同窓会誌発行協力金のお願い

今回の「日體人」発行にあたり、同窓会活動と母校の近況をお知らせするとともに会員相互の親睦を図るため、お届けいたします。本誌以降の誌面充実に向けて、引き続き協力金(2,000円)を募りますので、ご協力をお願い申し上げます。

1. 同封の振込用紙にてご協力いただける場合

| | |
|----------------|---|
| バーコードなし | 必要事項をご記入のうえ、通信欄に「卒業年（〇〇年3月卒業）」をお書きいただき、郵便局よりお振り込みくださるようお願いします。 |
| バーコードあり | 以前、協力金納入にご協力を賜りました方には、払込票にご住所等の情報を印字、コンビニやスマホ決済（au PAY・PayPay・LINE Pay等）でのご入金が可能なるバーコードを表記しております。引き続き、ご協力いただけますと幸いです。 |

2. クレジットカードにてご協力いただける場合

クレジットカード払いにてご協力いただくことが可能となりました。
<https://salat.club/nittaidai/>

阿南憲治、小林昌彦、川津一芳、岩本康伸、池島増治、山本隆土、石井聡、松本靖史、由迫英恭、甲斐義也、江藤美佳、小田涼太、赤星秀年、赤星朋昭、元田絹子、森豊夫、粟谷敦、古賀久美子、高江律子、中村昭男、賀久ハル子、多武悦子、大門傳、塘田昭紀、笹本勝義、前村眞次、野添哲美、山村浩、島田雅州、林茂雄、宮本紀夫、澁谷裕子、平井徳子、高本啓功、野口一英、野田隆生、松尾修一、吉田正範、桑原秀文、吉良恵介、井手和洋、黒田武、松本弘二、松本富子、畑野久雄、米川尚晃、近藤亨、木本一幸、窪順二、岩井清吉、有馬伸明、猿渡憲治、高本文夫、竹原英治、白石良寛、山川潔、竹原勝矢、志水貢一、松本幸、北山眞理、吉永公力、前野講紀、福山武男、西松策浩、豊田修治、斗高克敏、中田大稔、福島英次、宮本俊晴、父母慎二、高橋政敏、井上仁志、稲岡博信、早瀬雄一、村瀬直久、垣田一博、北原茂、西川克幸、堤浩利、北野元美、吉野勉、坂本道彦、上村秀久、山田智己、矢山裕明、井上淳一、緒方寿和、勝俣敬史、郡司祥、上山智也、平田徳保、堀大孝、宮本慶太、西田志徳、高木良哉、米村俊郎、村瀬文康、堤健太郎、林史仔、中武秀生、横山計邑、山之内修一、竹井史旺、鈴木スメ子、渡会康郎、押川尚生、猪股勝、甲斐藤昭、上西憲男、木下一郎、丹生進一、二見宗保、平田文雄、有馬雅美、長友寧雄、山本秀幸、平本修、水俣佐由美、黒木康代、船木浩久、松元秀文、谷口健二、前田翔老、鶴水義広、甲斐章史、城間保孝、神田潤一、山崎公平、吉田邦子、湊光雄、東喜美雄、高須美穂子、黒川勇雄、中宮洋二、重枝和洋、田口七郎、渡辺和夫、黒木靖典、日渡良治、長井忠道、長井英子、原豪、坂部猛章、今和泉省蔵、椛山伸也、福原良弘、神蘭篤、田之上茂己、久保英行、黒木徳男、今堀公夫、山崎洋一、益山厚、坂元正二郎、平拂豊志、吉元和枝、坂元耕作、福元修三、濱園卓郎、福元由子、外園清規、森田頼子、中禮雅治、篠原貞二、福嶋美文、堀口大輔、上大田信也、竹之内徹、中山恭平、東のぶ美、泉博文、山野井進治、竹山耕平、熊丸英雄、江口朝永、米永源、津田大地、地頭蘭彰紘、小堀俊子、島袋光枝、末吉敏子、大城武則、赤嶺良光、佐久本嗣男、菅間季弘、新田敏夫、仲本貴、島袋晴美、又吉伊吹木、伊禮尚武、平良将一、ジョンソンジュリアン



※旧姓や学籍番号等、ご記載いただけますと助かります。

NITTAI FAMILY

広がり続ける日體精神



日本体育大学荏原高等学校

求めて学び 耐えて鍛え 学びて之を活かす

〒146-8588 東京都大田区池上8-26-1 TEL:03-3759-3291






日本体育大学柏高等学校

健康と信用は最高の宝

〒277-0008 千葉県柏市戸張944 TEL:04-7167-1301






日本体育大学桜華中学校 日本体育大学桜華高等学校

健康・努力・敬愛

〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-5-1 TEL:042-391-4133






浜松日体中学校 浜松日体高等学校

積志力行・清節篤行

〒431-3125 静岡県浜松市中央区半田山三丁目30番1号 TEL:053-434-0632






日本体育大学附属高等支援学校

體育富強之基

〒093-0045 北海道網走市大曲1丁目6番地1号 TEL:0152-67-9141






日体幼稚園

健康第一主義

〒158-0091 東京都世田谷区中町五丁目10番20号 TEL:03-3701-4450






日本体育大学医療専門学校

生命の尊厳を自覚し、人間として謙虚な心と
仁愛の心をもった有為な人材を多く輩出する

〒158-0097 東京都世田谷区用賀2-2-7 TEL:03-5717-6161




寄付金のお願い

学校法人日本体育大学は「体育」を通じて世界に貢献します。

ご支援をお考えの皆様へ

学校法人日本体育大学は1891年(明治24年)に創設以来、建学の理念である「體育富強之基」に則り、知育、徳育を育み、健康を増進し、日本・世界の平和と発展に貢献する学生・生徒を育成することを旨として取り組んでまいりました。

現在、本法人は日本体育大学、日本体育大学荏原高等学校、日本体育大学桜華高等学校、日本体育大学柏高等学校、浜松日体高等学校、日本体育大学附属高等支援学校、日本体育大学桜華中学校、浜松日体中学校、日体幼稚園、日本体育大学医療専門学校を設置し、学生・生徒数は約1万人を擁するまでになりました。

当法人および各設置校へのご支援いただいた寄付金は、本法人事業として、スポーツ選手強化・指導者育成や国際交流によるグローバルリーダー育成、教育研究環境の充実・発展や学生・生徒への奨学金などを目的とし、その成果を通じ、広く社会に貢献還元致します。

皆様からのご支援、ご協力が大きな支えとなりますので、是非ご賛同いただき、多くの方々のご寄付をお願い申し上げます。

寄付金お申込み方法

寄付金の詳細は、下記に記載のWebサイトをご覧ください。
Webサイトでは、手続きに便利な「お申込みフォーム」を提供しています。ぜひご利用ください。
Webサイトへは下記のURLからアクセス可能です。
その他ご不明な点は「寄付金各種お問い合わせ」までご連絡ください。
※各設置校で個別に実施している寄付金事業については、各学校へお問い合わせください。



<https://www.gaku-nittai.ac.jp/donation.html>

ご寄付に対する税制上の優遇措置

当法人に対するご寄付は、税制上の寄付金控除の措置を受けることができます。必要となる書類は、寄付金の入金が確認でき次第、ご送付させていただきます。

寄付金に関するお問い合わせ

学校法人 日本体育大学 法人事務局 総務部 経理課
〒158-0081 東京都世田谷区深沢7-1-1
日本体育大学 東京・世田谷キャンパス内
TEL: 03-3704-5201 FAX: 03-3704-3336
E-mail: kifu@gaku-nittai.ac.jp

ホームページより登録会員情報の更新が可能です

【登録会員情報変更の方法】

1 同窓会 HP 右上の **お問い合わせ** をクリック



2 「住所変更届け」「新規会員登録」「ご連絡の停止」「お問合せ」
いずれかを選択し、情報を送信してください。



お問い合わせページへの
直接アクセスはこちら

TEL & FAX でも
受け付けています



TEL : 03-3704-0266



FAX : 03-3704-1817

※ TEL & FAX での変更等のご連絡の際は、登録番号をご準備のうえ、お問い合わせいただくとスムーズです。
(登録番号は宛名シールに記載されています)